

安全データシート

1. 製品及び会社情報

Cat.No. : 5 3 1 1 6 0
 製品名 : Vario Ammonia Salicylate F5mL
 会社名 : セントラル科学株式会社
 住所 : 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
 担当部門 : 品質保証部
 電話番号 : (03) 3812-9186
 FAX 番号 : (03) 3814-7538

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康有害性 急性毒性：経口：区分 3

GHS ラベル要素 :



危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有毒

注意書き :

<安全対策>

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

<応急措置>

飲み込んだ場合：直ちに医師の手当を受ける。
 口をすすぐこと。

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
サリチル酸ナトリウム	60~70%	HOC ₆ H ₄ COONa	3-1639	54-21-7
ペントシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物	≤2.5%	Na ₂ [Fe(CN) ₅ NO] · 2H ₂ O	設定されていない	13755-38-9

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を全て脱ぐ/取り除き、直ちに多量の水で洗い流す。

眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : よく口をすすぎ、コップ 1, 2 杯の水を飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。

重要な徴候： 刺激、吸収
 吸入した場合：粘膜の炎症、咳、息切れ
 飲み込んだ場合：不調、吐き気、下痢
 多量に飲み込んだ場合：頭痛、めまい、方向感覚失調、血圧降下、電解質バランスの乱れ、発熱、痙攣、昏睡

5. 火災時の措置

消火剤： 周囲の状況に適した消火剤を使用する
 火災時特有の危険有害性： 本製品は不燃性です。火災時に有害なガスが発生するため、消火の際には適切な保護具を着用する（亜硝酸ガス、窒素酸化物（NO_x）、シアン化合物、一酸化ナトリウム）。
 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。消火のための放水などにより環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
 封じ込め及び浄化の方法・機材： 飛散したものはできるだけ掃き集めて空容器に回収する。そのあとを水酸化ナトリウム、炭酸ナトリウム等の水溶液を散布しアルカリ性（pH11以上）とし、更に酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等）の水溶液で酸化処理した後、多量の水を用いて洗い流す（pH8 ぐらいのアルカリ性ではクロルシアン（ClCN）が発生するので、注意する）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策： 取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気施設内で使用する。使用の際は適切な保護具を着用する。取扱い後は手を洗淨する。酸との接触を避ける。
 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアロゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手を洗淨する。
 接触回避： 酸
 安全取扱い注意事項： 吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用する。使用の際は適切な換気を行う。
 保管
 適切な保管条件： 高温、直射日光を避ける。湿気、水分を避ける。換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する（10～20℃）。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗淨施設を設置する。
 管理濃度： 設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV (s) : TWA 1 mg/m³ (Fe として)
 日本産業衛生学会 : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态・形状 : 固体・粉末
 色 : 薄い色
 臭い : 無臭
 pH : 8.1 (50g/L) @20°C
 融点 : データなし
 沸点 (初留点) : データなし
 引火点 : 適用なし
 燃焼性 : 不燃性
 燃焼又は爆発範囲 (上限・下限) : 適用なし
 蒸気圧 : データなし
 比重 : 1.25g/cm³@20°C
 溶解性 : 水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 安定
 危険有害反応可能性 : 酸と接触すると有毒なガスを発生する。
 避けるべき条件 : 強い加熱 (分解)
 混触危険物質 : 酸
 危険有害な分解性生成物 : シアン化水素 (青酸 HCN)、亜硝酸ガス、窒素酸化物 (NO_x)、シアン化合物、一酸化ナトリウム

11. 有害性情報

製剤についてのデータは無い。

急性毒性 : ペンタシアノニトロシル鉄 (Ⅲ) 酸ナトリウム二水和物について
 経口 ラット LD50=99mg/kg (無水物として)
 皮膚腐食性・刺激性 : ペンタシアノニトロシル鉄 (Ⅲ) 酸ナトリウム二水和物について
 シアン化物は皮膚に弱い刺激性があるとの記載がある。
 (CICAD 61(2004))
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : ペンタシアノニトロシル鉄 (Ⅲ) 酸ナトリウム二水和物について
 シアン化物は眼に弱い刺激性があるとの記載がある。
 (CICAD 61(2004))
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : ペンタシアノニトロシル鉄 (Ⅲ) 酸ナトリウム二水和物について
 本物質は医薬品の降圧剤として使用され、静脈内に投与される。主な副作用として、低血圧、肝機能異常、頻脈等が知られており、臨床検査値の異常変動としては肝機能検査異常、血圧低下、C-反応性タンパク増加、PO₂ 低下、白血球増加等が報告さ

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露): れている(医療用医薬品集(2010)、List1 相当)。
 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物について
 無水物投与後に体内で生成されるシアン化物の主な標的臓器は、心血管系、呼吸器系、中枢神経系であり、その代謝物であるチオシアナートは甲状腺でヨウ素の取込みを阻害し甲状腺腫誘発因子として作用するため、継続的ばく露では内分泌系もまた長期毒性の標的となる可能性がある(CICAD 61(2004))と述べられている。

1 2. 環境影響情報

生態毒性: データなし
 残留性・分解性: データなし
 生体蓄積性: データなし
 オゾン層への有害性: データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 水酸化ナトリウム水溶液を添加し pH11 以上のアルカリ性にして、次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等の水溶液を加えて酸化分解処理し、硫酸等で中和し、多量の水と共に排水する。
 注: CN 成分の分解にはアルカリ性で十分に時間をかける。
 CN 成分を分解した後に中和する時は pH8.5 以上に保つこと。これ以下にすると沈殿が完全には生成されない
 廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
 または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 容器: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類: 非該当
 国連番号: 非該当
 注意事項: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法: 毒物(ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 化学物質管理促進法: 非該当
 労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 鉄水溶性塩(政令番号: 352 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 水質汚濁防止法: 有害物質(法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 土壤汚染対策法: 特定有害物質(ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 船舶安全法(危規則): 毒物類・毒物(危規則第 2、3 条 危険物告示別表第 1 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)
 航空法: 毒物類・毒物(施行規則第 194 条 危険物告示別表第 1 ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)

16. その他の情報

引用文献

Lovibond Vario Ammonia Salicylate F5ml (Cat.No.00531169, 531160, 4531160) 2018.09.25

13901 の化学商品 化学工業日報社

化学物質安全情報 研究会編 オーム社

化学大辞典 東京化学同人

関東化学株式会社 安全データシート(サリチル酸ナトリウム、ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)

富士フイルム和光純薬株式会社 安全データシート(サリチル酸ナトリウム、ペンタシアノニトロシル鉄(Ⅲ)酸ナトリウム二水和物)

安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の実験取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

この安全データシート(SDS)は JIS Z 7253:2012 に基づいて作成しております。GHS 分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、WTW 社、Tintometer 社、Suez 社の GHS 分類とは異なる場合があります。